

授業科目

視覚総合演習II

担当教員名 前田 史篤、宮口 翔太、高林 知也 他	対象学年	4	対象学科	視機
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○	○	

授業の概要

視覚訓練士の臨床に対応するテーマを設定し演習形式で討論する。メモリーツリーを作成して理論と知識に多角的な繋がりを構築し、臨床に必要な応用力に広がりや深みをもたせる。

授業の目的

視覚機能学実習で学んだ各種検査の理論や目的、方法と視覚機能検査学の検査結果の評価を統合させる。診断、治療に必要な検査計画を立案し、疾患の臨床的特徴とそれに対応する検査所見に矛盾がないか、自らがアセスメントする能力を養う。

学習目標

1. 症例に必要な検査が説明できる。
2. 問題リストが作成できる。
3. 問題点に応じた治療計画が説明できる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	ガイダンス メモリーツリーの作成法とレポートのまとめ方	講義	前田 史篤
2-3	車椅子の患者への対応	演習	宮口 翔太、高林 知也、前田 史篤 他
4-5	前眼部疾患	演習	前田 史篤 他
6-7	後眼部疾患	演習	前田 史篤 他
8-9	斜視	演習	前田 史篤 他
10-11	弱視	演習	前田 史篤 他
12-13	神経眼科疾患	演習	前田 史篤 他
14	症例報告	演習	前田 史篤 他
15	まとめ	講義	前田 史篤 他

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	視能学 第2版	丸尾敏夫、久保田伸枝、深井小久子 (編)	文光堂	2011年	18,000円+税	前年までに購入済み
参考書						
その他の資料						

評価方法

定期試験 60%
提出物 40%

履修上の留意点

再試験・追試験は必要があれば原則として1回のみ実施する。
締め切りを過ぎた提出物は原則として受け取らない。

オフィスアワー・連絡先

毎週水曜日の昼休み
P310
fumiatsu-maeda@nuhw.ac.jp